

中川村議会だより第123号アンケート結果

1. 今号及び特集号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 議会だより特集号はとても良かったと思います、子供のころに習ったはずの議会の必要性をあらためて理解することができました。多くの方が読んで頂けると良いのですが、やはり活字になっていると読まないという人もいらっしゃると思うのでチャンネルなかがわ等で 動画にして放送すればより多くの方に理解いただけるとと思います。11月の特集号の様な議会の必要性についての内容は今回だけでなく、村議会議員選挙の前など度々発行されると良いのではないのでしょうか。
- 特集号の登場にはとても驚きました。普段皆が思っている事をわかりやすく、ユーモアを交えて書いてあり親しみがもて「議会」が少し身近に感じられるようになりました。すごく良かったです。
- P13～の議会活動についてのまとめは、それぞれの見出しで何について書いてあるか分かりやすく良いが、このように横書きにするのであれば、ページのめくり方を逆にし、左綴じの方が読みやすく感じました。
- P16～「アーティスト・イン・レジデンス」の言葉の意味が分からない。読み進めればだいたいの予想はつくがあやふやなので、特にこうしたカタカナ言葉には、一緒にどんな意味なのかということを書き記す必要があると感じます。
- 「特集号」たのしくよませていただきました。読みすすめて思ったのが登場人物紹介、関連図が明記されていると広い年齢層の方々により深く理解してもらえるのではと感じました。（ニックネームとかでおかれると余計混乱する人もいるかも・？） 今までよくわからなかった村議のことがよく知れそうでしたのしみです。
- 表紙を飾る写真が、コロナ禍で祭りから狼煙上げに変わったのは残念だったが、狼煙上げは、これで村民に認知されると思うので、良い発案だったと思います。
- コロナウィルスの感染予防対策で、行政も議会も苦勞されていると思いますが、村の課題解決に向けて、着実に進めて行って下さい。
- 補正予算の「主な使い道」でピックアップしたのは、判りやすいと思います。
- 議員発議の4件は、何れも時宜に適ったもので、議会のアンテナの高さを感じました。また、「全員賛成」も納得のゆくものです。
- 10月16日に、坂戸橋が国の「重要文化財」に指定されたことは、大変嬉しいことであり、今後、保存に向けた具体的な体制作りが必要になると思います。北の「坂戸橋」と南の「南向発電所」で、歴史的建造物のある村としてもPRできるのではないかと思います。
- 特集号で、議会の構成や取り組んでいる内容を解り易く説明しようとしている努力を評価します。「ご隠居と八つあん」のやり取りを思いついたのは素晴らしい着想です。このパターンで続けて行ってください。
- 特集号は大変良い取り組みだと感じました。議会だよりが発行されない月に配布

する発想も良いと思います。

- 12月号では落語調の表現で大変楽しく読みました。どなたが原稿を作成されたのでしょうか？多くの方に読んでいただけそうな表現・内容は素晴らしい文才だと思いました。
- 「2年間で村の議会がやったこと」および「各委員会の報告」はしっかりと記事が書かれており良いと感じましたが、「読みづらい」と感じました。原因はこの記事が「横書き」だからです。12ページまでは縦書きの構成であったものが、13ページから横書き構成に代わっています。同一冊子の中ではできるだけ同じ構成にした方が良いように思います。ちなみに、日本語の縦書きは「精読」されやすく、横書きは「速読」しやすいそうです。議会だよりの趣旨を考えると、やはり全面縦書きの方が良いのではないのでしょうか。
- 陣馬形の狼煙あげの写真が表紙になっていますが、秋の行事だったのかな？と自分の中では思っています。できれば何日に行われたと書いてあってもいいかと思えます。議会だより特集号などにも写真が載っている太陽光発電（メガソーラー）自然の力を使っていいかとは思いますが問題も多いみたいですね。
- 以前に比べて、かなり読みやすく分かりやすくなっていると思います。
- 5ページの「キュレーター」という用語は初めて聞きました。学芸員とかの表現にさせていただいたほうが親切だと思います。
- 7ページの質疑に首を傾げてしまいます。尖閣諸島の問題に無関心ではいけないとは思いますが、そのことについてなぜ村議会の場で村長の見解を聞き出さなければならぬのでしょうか。もっと足元の問題に目を向けていただきたいです。
- 15ページで、「奥山再生、荒廃農地、荒廃森林対策など振興課に人員増員」されたことを初めて知りましたが、増員された人員っていったい誰なのかなと思えました。
- 19ページから20ページに出てくる「交流支援センター」は、「交流センター」とは別のものなのでしょうか。
- 交流センター立ち上げ時や中長期計画に議会として検討を要望している事項が非常に多岐にわたり、考えつくことを思いっきり盛ったものだなあという印象です。そのせいなのでしょうが、交流センターの具体的イメージが全然湧いてきません。
- 内容も文書の表現のとても分かりやすく、読みやすい「議会だより」でした。
- 「館報」の政治版のような感じで、とても勉強になる部分があり、読み物として充実していたと思います。
- 前回の意見「鳥獣害について」一般質問していただきありがとうございました。特集号、見やすくていいです。長い議会だより、目を通しやすい。
- 尖閣諸島に中国が領海侵入しているのは日本の危機かもしれないが、中川村の村長の見解を聞いてどうなるものだろうと感じた。
- 突然の議会だより特集号を見て、より議会というものがどのようなものなのかが

分かった気がします。初めての試みでより議会や議員とはが身近に感じられる特集かなと思います。

○見出しがとても見やすくよい。

○議会だより特集号は読みやすく、読んで見ようと思う内容でした。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

○SDG s の取り組みに対してこれから先、村はどのような活動をしていくのか、村民がどんなことを意識して生活していけばいいのかということ。(SDG s、持続可能な開発目標という言葉もとても分かりづらいですが)

○移住情報 人口減少をくいとめるために活用できると良い{なぜ中川村にきたのか、えらんだのか ・今後の中川村はどのようになってほしいか ・中川村のどんなところをのこしてほしいかなど}

難しいとは思うが、村からはなれる人の意見ものせられると良いな・・・と思います。

○農業観光交流センターの取り組み状況について、その都度情報提供して欲しい。

○議会だより各号によって、編集内容が変わりすぎるような気がします。例えば、議案の審議結果が記載されない号がある等バラツキがあります。おそらく特集記事や委員会報告の分量に伴い紙面構成を変えざるを得ないのかと推測しますが、一般質問の紙面を1ページ2名とすれば編集がし易くなるのではないのでしょうか。各議員は質疑の要点を分かり易くまとめ、端的に表現すればそれは可能だと考えます。

○新型コロナウイルスに関する本当に医学的な正しい情報を教えて欲しいです。

感染者の人たちが周りから嫌がらせにあって引っ越ししたなどというデマゴーグが飯田市の件ではあったようで、こう言った不確かな噂が拡散した結果、村民に隠蔽体質が生まれてしまうのを危惧しております。

○このテーマならどの議員さんに相談するのが良いのか、など、様々な声を届けられる窓口のようなものを載せていただくとよいかと思います。

○普段の議員活動（議会以外のところ）

○若者が住みやすい村の紹介。

3. 議会・村に対する要望、意見等

○将来世代の生命を守るために、ゼロカーボンに向けて、村でも積極的に取り組んでいくべきだと思います。そうしないと村の産業の中心である農業も思うように出来なくなる可能性がでてくるのではないのでしょうか。今後、どのように取り組めばよいのか、きちんと考えていってほしい。

○中川の小学生はマーチング活動を通して皆が楽器の演奏を経験します。その子達がある程度成長した時に、もう一度楽器演奏をやりたいと思っても中川村内にはその活躍の場がごく限られてしまい出来ない状態です。楽器をそろえる等なかなか

か難しい点が多いと思いますが、芸術の面でも地域を盛り立てていけたらいいなと思うので消防団音楽隊や吹奏楽団などの設立を考えてみてはどうでしょうか。

- チャオ1階に授乳、調乳スペース、母子で入れるトイレ、おむつ台の完備があると良いとずーっと思っていました。国道沿いにある大きめのスーパーを見た世の母たちは赤ちゃんスペースがあることを期待しています。(私もその1人です) 実際、他市町村が他県からきたらろう赤ちゃん連れのお母さんに授乳スペースをきかれたことがあります。地元民であってもバンビーニのことをよく知らない人もいます。(バンビーニであそんでいるとどんな場所か知らず様子をみにくる人もいます。) そんな人たち(観光客)にやさしい場所があると良いとずーっと思っていました。

赤ちゃんの中にはミルクのお子さんもいます。40℃前後のお湯がでる機械やミルクをひやす水道も完備してあればなおやさしいと思います。だれにとってもより居心地の良い場所づくり、必要だと思います。国道沿いなのがネックです！！

- 先日ふと飯綱町の議会だよりをネットで拝見したところ、そこには毎号「議会だよりモニターアンケートにお答えします」というページがありました。モニターから寄せられた意見や質問に対してすべて回答せよとは申しませんが、今までに寄せられた意見や要望の中に、これだけは中川村議会として回答しなければならないと認識するものは何もなかったってということなのではないでしょうか？
- 議会だよりモニターを本年4月以降も継続される旨の記載がありますが、私はその必要性を感じません。2年間におけるモニターの皆様の意見を集約すれば、「議会だより」の基本的方向性は見えてくるのでないでしょうか。「樹木」に例えれば議会だよりはあくまでも議会活動のひとつの「枝」であり、そこにのみ何年間もモニター制度を続けることに意味を感じません。「手段が目的化」してしまいます。それよりも、議会活動の「幹」や「根」である政策について、広く村民の意見を聞く手段を検討すべきだと考えます。それは役場サイドにも言えることで、わが中川村にはそのような場がまだまだ少ないと感じています。
- また聞いた話ですが、無農薬の農業をされている県外から中川村へ来た方ですが、ある家の近くで畑をされていて、その家の方が虫が多くてこまると話をしたそうです。その時は「わかりました」と言ってくれたみたいでしたが、なにも変わらず虫は増え家の方が「どうにかしてくれ」と話しましたが、「はあー」と言っただけで終わってしまい、その態度にキレましたと聞きました。村外でもりんご団地が無農薬の方が入られ、その年団地内のりんごがかなりの被害が出たという所もあります。農家にとっては辛い事です。
- やはり人口流出問題等ではないでしょうか。これからの高齢化と経済的問題が最重要課題だと思います。私のような都会からの移住者にとっては隣組、班、地区などのいわゆる自治会運営が同じ村内にあってもそれぞれ内容のばらつきが多すぎるのではないかと思います。移住してきたときは中川村としての各種情報はネットや書類など色々なメディアで知ることができますが、地区など自治会運営

については内側に入ってみないと細かい部分はわかりません。郷に入れば郷に従え、という考えでうまくやっていけたら何の問題も無いのですが…。決まりごとというのはたとえ現状にそぐわなくなっている事でも皆が納得できるように変更するのはそう簡単でも無いな、と実感しております。もうぼちぼち隣組や地区の運営についても村の方で介入というほどでは無いにせよ、指針というか、要請というか、とにかく村民全てが平等に民主的に生活できるように政治システムをわかりやすく変えていって欲しいと思います。移住者を歓迎して人口を増やし、経済的にも発展していきたい考えであるならば、とりあえず各地区の加入金、地区費については村のウェブサイトや広報誌等に明記しておく必要があると思います。当然、反対意見も多々あるとは思いますがこういった考え、要望もあるという事を村民に広く知らしめることは簡単にできると思います。今現在、コロナ禍で都会から地方に移住しようとしている人たちが多くなっていると聞きます。これをチャンスと捉えて、地方の自治権に関する閉鎖的でわかりにくい部分を無くしていく姿勢を表明するだけでも、この中川村が全国的に再び注目されるのでは無いかと思って おります。

- 消防団の操法大会が中止となるそうですが、私が消防団に入っていた 20 年前にも大きな負担で、どの団員も家庭に迷惑をかけていました。今頃ですか？ どれだけ時代遅れかと、呆れます。
- 交流センターでどんちゃん祭りやさわやかウオークなどのPRと記されていましたが、例えば4000人集めた信州ながわハーフマラソンは、そんな手抜きの集客はしていませんでした。誰に向けたPRなのでしょう？
- 議員の皆さんがさまざまなテーマで議論を重ねてくださっていますが、私の住んでいる南陽の住民が喜ぶような施策はほとんどないですね。
- 交流センターの中長期計画作成の記事があったが、私はキャンプが好きなのでアウトドア事業が充実すると嬉しいです。綺麗なトイレ・炊事場・温泉やキャンプフェスなどがあれば注目を集められるのではないかと思います。
- 2年間、議会だよりのモニターをさせていただき、少しだけ村の政策やしくみがわかったような気がします。
ただ、2年間私が農業に携わるなか、議員さんと直接お話し出来たのは1回だけでした。勤め人とは違い畑に来ていただければ、いつでもお話しできるのに、皆さんどんな活動をされているのか。集まってくださいではなく、「ずくをだす」と方言にもあるように、少しの気持ちの持ちようで、住民と話し、考えることのできる議会になるのではないのでしょうか。
畑で待ってます。
- 子育て世代に対する助成が以前より充実してきていますが、本当に必要な世代（中学卒業まではかなり充実していると感じていましたが）高校生を育てている世代にも助成なりがあるとよりよいと思います。
- 高齢者・障がい者で車椅子で生活する人達にとって中川村は住みやすいのか？

○県外へ進学・就職し地元に戻って就職を見つけるにあたって・・・中々就職先が見つからなかったりするので、何か良い情報があるとよいと思う。

4. その他

○議会だよりモニターは任期1年で良いかなと思いました。

○2年間モニターをやらせていただきいつも流し見していた議会だよりをじっくりよむ良い機会になりました。私は2児の母なのでどうしても子どもより、親よりの意見ばかりになってしまい申し訳ありません。意見だけを言う立場なので、お金や他者の問題などは何も考えておらず、実行が難しいことも多いと思います。しかし、私はここにとついでできた身ですがこの村が大好きです。大好きなこの村がだれにとってもすみやすいところになるように、子どもたちにとって、自まんでできるふるさとになるようにいのっています。ありがとうございました。

○今年度（2020年度）から展開されている「中川村第6次総合計画」の「前期基本計画」の「幼児期から高等教育までの教育環境の充実」項目の中に「教育の質を高めるため小学校の適正規模について検討します」との施策が挙げられています。いわゆる「東小・西小統合」です。村の将来にとって大変大きな課題ですが、少子化が年々進む現況を踏まえると早急に検討すべきだと思います。まずは議会が村民の意見をよく聞いたうえで、定例議会の場で取り上げるべきだと私は考えます。

○2年間モニターとしてお世話になりました。なにを書いているのか？とか的外れな事を書いたり、文書力がなく迷惑をかけてしまっていたと思います。2年間ありがとうございました。